

動きが育てば、体は育つプロジェクト

背景

1985年の教育科学研究集会で、「子どもの体がおかしい」と発表されて、20年が経ちましたが、未だ復調の兆しが見られません。

今までの政府の反応は、体力の低下を理由とし、体力づくりによってこれに対処しようとした。しかし、実際に行われている体育やスポーツは運動そのものを練習し、習得していくことです。つまり、体力づくりのために運動があるのではないのです。

そこで、いろいろな運動を身に付けていくうちに、自ずと体力を付けていこうという発想に至ったわけです。

コースごとと活動内容

幼児期コース

基本的運動能力を発達させよう！

歩く・走る・跳ぶ・投げる・捕るなどの人間として不可欠な基本的運動能力の発達を促す

- ・運動能力テストによる個人の伸びを把握
- ・一斉指導
- ・家庭でもできる親子運動
- ・バリエーション豊かな運動との関わり

小学1・2・3コース

運動をしたいという欲求を満たし、その楽しさや喜びを味わい運動好きになろう！

走・跳の運動、力試しの運動、器械・器具を使つての運動、用具を操作する運動、表現リズム遊び、ボールゲーム、鬼遊びを通して、運動好きになるとともに、各種の運動の基礎を培う

- ・運動能力テストによる個人の伸びを把握
- ・運動カードによる習得した運動の把握
- ・バリエーション豊かな運動との関わり

小学4・5・6コース

仲間との関わりの中で、学校体育のスペシャリストになろう！

仲間と教え合い・励まし合いながら、器械運動、陸上運動、ボール運動、表現運動を通して、記録や技能が高まる喜びを味わう

- ・運動能力テストによる個人の伸びを把握
- ・記録の累積による個人の変容の把握
- ・バリエーション豊かな運動との関わり
- ・スモールステップによる指導

- 年4回（5/25・8/31・12/21・3/15）の運動能力テスト
- 年4回（5/25・8/31・12/21・3/15）の身体測定
- 秋のスポーツフェスティバル（10/19）

- 年2回（7/13・2/8）の交流スポーツイベント